

富津市介護保険運営協議会会議録

1 会議の名称	令和7年度第4回富津市介護保険運営協議会
2 開催日時	令和8年2月18日(水) 15:00~15:45
3 開催場所	富津市役所 2階 第3委員会室
4 審議等事項	<p>1 議案</p> <p>議案第1号 地域包括支援センター運營業務受託法人の選定結果について</p> <p>議案第2号 指定地域密着型サービス事業所の新規指定について</p> <p>議案第3号 指定介護予防支援等の業務の一部を委託する居宅介護支援事業所の承認について</p> <p>議案第4号 地域包括支援センターの設置について</p> <p>2 報告</p> <p>報告第1号 第10期富津市介護保険事業計画・富津市高齢者福祉計画に係るアンケート調査の進捗状況について</p> <p>報告第2号 地域密着型サービス事業者の公募結果について</p> <p>報告第3号 介護予防・日常生活支援総合事業指定事業者の新規指定について</p> <p>報告第4号 指定居宅介護支援事業者の指定更新について</p>
5 出席者	<p>【委員】 宮崎晴幸委員、大野泰代委員、小林美奈子委員、北湯口広委員、宮野京子委員、平野武委員、脇坂和弘委員、亀卦川洋美委員、白川多美子委員</p> <p>【事務局】 高橋市長、小野田健康福祉部長、中山介護福祉課長、山口介護福祉係長、西野高齢者支援係長、堀越副主査、宮野社会福祉士、奥山主事、白井主事、佐久間社会福祉主事</p> <p>【説明員】 株式会社ライフパシフィックデザイン 坂本研究員 株式会社ライフパシフィックデザイン 鳥越研究員</p>
6 公開又は非公開の別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 ・ <input type="checkbox"/> 一部公開 ・ <input type="checkbox"/> 非公開
7 非公開の理由	
8 傍聴人数	0人 (定員5人)
9 所管課	健康福祉部 介護福祉課 (電話 0439-80-1262)
10 会議録(発言の内容)	別紙のとおり

令和7年度第4回富津市介護保険運営協議会 会議録

発言者	発言内容
山口係長	— 会議前の諸連絡及び資料確認 —
開会（15：00）	
山口係長	— 開会 —
宮崎会長	— 会長挨拶 —
高橋市長	— 市長挨拶 —
山口係長	<p>続きまして、次第の4「議事」でございます。</p> <p>富津市介護保険規則第5条の3第1項に「運営協議会の議長は会長とする。」と規定されておりますので、議事進行を宮崎会長にお願いしたいと思います。</p> <p>宮崎会長よろしくお願いたします。</p>
宮崎議長	<p>しばらくの間、議事進行させていただきます。</p> <p>それでは、議事に入る前に本日の会議の議事録署名人を指名いたします。大野委員と小林委員を議事録署名人に指名いたしますので、よろしくお願いたします。</p> <p>それでは、会議次第に沿って進めさせていただきます。</p>
宮崎議長	<p>議案第1号「地域包括支援センター運営業務受託法人の選定結果について」を議題とします。</p> <p>事務局の説明を求めます。</p>
宮野社会福祉士	<p>議案第1号「地域包括支援センター運営業務受託法人の選定結果について」ご説明申し上げます。</p> <p>資料の1ページをお開きください。</p> <p>現在、委託している地域包括支援センター運営業務の契約期間が今年度までとなっていることから、介護保険事業計画に沿って日常生活圏域ごとに地域包括支援センターを設置すべく、令和8年度からも引き続き地域包括支援センターの運営業務を委託するため、その受託法人を募集することについて、昨年8月開催の第2回運営協議会で承認をいただいたところです。</p>

	<p>昨年9月18日から10月10日までの間、受託法人の公募受け付けをしましたところ、2つの社会福祉法人及び1つの医療法人から応募があり、12月8日に提案審査を行った結果、資料に記載のとおりとなりました。いずれの法人も、資料1ページ、2選考基準の(2)に記載の最低基準点である720点を上回っており、地域包括支援センター運営業務に係る受託候補法人として選考した旨の通知をいたしました。富津地区、天羽地区の生活圏域においては、現在、運営業務を委託している法人に引き続き委託をし、大佐和地区の生活圏域につきましては、医療法人新都市医療研究会「君津」会に、新たに運営業務を委託しようとするものです。</p> <p>この度、これらの法人と地域包括支援センター運営業務に係る委託契約を締結するに当たり、富津市介護保険条例第2条の4の規定により、本運営協議会の承認を求めようとするものでございます。</p> <p>以上で、議案第1号「地域包括支援センター運営業務受託法人の選定結果について」の説明を終わります。</p> <p>ご審議のほどよろしくお願い申し上げます。</p>
<p>宮崎議長</p>	<p>事務局の説明は終わりました。</p> <p>ご質疑、ご意見ございませんか。</p> <p>それでは、ご質疑、ご意見もないようですので、議案第1号は承認することでご異議ございませんか。</p>
<p>— 委員から「異議なし」の声あり —</p>	
<p>宮崎議長</p>	<p>異議がないものと認めます。</p> <p>よって、議案第1号は承認することといたします。</p> <p>続きまして、議案第2号「指定地域密着型サービス事業所の新規指定について」を議題とします。</p> <p>事務局の説明を求めます。</p>
<p>白井主事</p>	<p>議案第2号「指定地域密着型サービス事業所の新規指定について」ご説明いたします。</p> <p>資料の2ページをご覧ください。</p> <p>本議案は、合同会社アートルリングスより届け出がありました「デイサービス花く</p>

	<p>じら」の令和8年4月1日から開始予定の指定地域密着型通所介護事業所の新規指定にあたって審議をお願いするものです。</p> <p>地域密着型サービス事業所の指定は、市町村長が行うと、介護保険法第78条の2第1項に規定されています。また、同条第7項に被保険者その他の関係者の意見を反映させるために必要な措置を講ずるよう努めなければならないと規定されています。</p> <p>資料の3ページから4ページは、事業所の指定に係る審査項目を一覧にしたものです。票の作りですが、左から順に種目区分、チェック区分、そのチェック項目に対する回答、判定となっており、「デイサービス花くじら」はすべて基準に適合していることから、地域密着型通所介護事業所の新規指定について承認を得たいというものです。</p> <p>以上で、議案第2号「指定地域密着型サービス事業所の新規指定について」の説明を終わります。</p> <p>ご審議のほどよろしくお願いします。</p>
宮崎議長	<p>事務局の説明は終わりました。</p> <p>ご質疑、ご意見はございませんか。</p> <p>それでは、ご質疑、ご意見もないようですので、議案第2号は承認することでご異議ございませんか。</p>
<p>— 委員から「異議なし」の声あり —</p>	
宮崎議長	<p>異議がないものと認めます。</p> <p>よって、議案第2号は承認することといたします。</p> <p>続きまして、議案第3号「指定介護予防支援等の業務の一部を委託する居宅介護支援事業所の承認について」を議題とします。</p> <p>事務局の説明を求めます。</p>
佐久間 社会福祉主事	<p>議案第3号「指定介護予防支援等の業務の一部を委託する居宅介護支援事業所の承認について」に関しまして説明申し上げます。</p> <p>資料の7ページをお開きください。</p> <p>通常では、要支援の認定を受けた方については、地域包括支援センターで介護予</p>

	<p>防ケアプランを作成することとなっておりますが、要支援者は年々増加しており、その全てを地域包括支援センターで対応することが困難な状況となっております。</p> <p>このような状況を鑑みて、介護保険法第115条の23第3項の規定により市の運営協議会の承認を受けた居宅介護支援事業所が地域包括支援センターから委託を受けてケアプランを作成できることとなっております。</p> <p>この度、大佐和地区居住者から下記事業所の介護支援専門員によるケアプラン作成等の希望があったため、大佐和地区地域包括支援センターより、指定介護予防支援等の業務の一部を委託する居宅介護支援事業所の承認についての依頼がありました。そのため、承認をいただきたく本運営協議会にご審議をお願いするものです。</p> <p>8ページと9ページには大佐和地区地域包括支援センターより受領した理由書を添付しております。</p> <p>また、上記事業所が運営協議会で審議となるにあたり、本市での指定がない事業所ではありますが、袖ヶ浦市が本市同様の審査のうえ、指定事業所としていることから、適正事業所と認めることとしたいため、同市が発行した指定通知書を10ページへ添付しております。</p> <p>以上で議案3号に関する説明を終了とさせていただきます。</p> <p>ご審議のほどよろしくお願い申し上げます。</p>
宮崎議長	<p>事務局の説明は終わりました。</p> <p>ご質疑、ご意見はございませんか。</p> <p>それでは、ご質疑、ご意見もないようですので、議案第3号は承認することでご異議ございませんか。</p>
<p>— 委員から「異議なし」の声あり —</p>	
宮崎議長	<p>異議がないものと認めます。</p> <p>よって、議案第3号は承認することといたします。</p> <p>続きまして、議案第4号「地域包括支援センターの設置について」を議題とします。</p>

	事務局の説明を求めます。
宮野社会福祉士	<p>議案第4号「地域包括支援センターの設置について」ご説明いたします。</p> <p>資料の11ページをご覧ください。</p> <p>先ほど承認をいただきました、議案第1号「地域包括支援センター運營業務受託法人の選定結果について」にて説明をさせていただいたとおり、令和8年度から大佐和地区の地域包括支援センターにおいては、医療法人新都市医療研究会「君津」会に運營業務を新たに委託しようとしているところです。</p> <p>本議案の「地域包括支援センターの設置」は、富津市介護保険条例第2条の4に「協議会は、地域包括支援センターの設置及び運営に関する事項について審議する。」と規定されていることから、本運営協議会に、ご審議をお願いするものです。</p> <p>令和8年4月1日から地域包括支援センター運營業務を開始するにあたって、医療法人新都市医療研究会「君津」会から、地域包括支援センター設置届出書が提出されました。</p> <p>資料12ページをご覧ください。</p> <p>地域包括支援センター設置に関する基準チェック表です。</p> <p>当該法人から提出された届出書類から、地域包括支援センターの設置者が遵守すべき基準に適合していることが確認できたため、地域包括支援センター設置について、ご審議をお願いいたします。</p> <p>以上で、議案第4号「地域包括支援センターの設置について」の説明を終わります。</p>
宮崎議長	<p>事務局の説明は終わりました。</p> <p>ご質疑、ご意見はございませんか。</p> <p>それでは、ご質疑、ご意見もないようですので、議案第4号は承認することでご異議ございませんか。</p>
— 委員から「異議なし」の声あり —	
宮崎議長	異議がないものと認めます。

	<p>よって、議案第4号は承認することといたします。</p> <p>続きまして、報告に移ります。</p> <p>報告第1号「第10期富津市介護保険事業計画・富津市高齢者福祉計画に係るアンケート調査の進捗状況について」です。</p> <p>事務局の説明を求めます。</p>
中山課長	<p>報告第1号「第10期富津市介護保険事業計画・富津市高齢者福祉計画に係るアンケート調査の進捗状況について」をご説明いたします。</p> <p>資料14ページをご覧ください。</p> <p>令和9年度から令和11年度までを計画期間とする第10期富津市介護保険事業計画・富津市高齢者福祉計画の策定に向けて、高齢者の状態やニーズを把握するためのアンケート調査を、令和7年11月25日（火）から12月22日（月）までを調査期間として実施し、現在、回答いただいた調査票を集計・分析しております。</p> <p>本日は介護保険事業計画策定支援業務の受託者である株式会社ライフパシフィックデザインの坂本研究員から調査票の回収率や集計結果の一部について、この後ご説明いたします。</p>
(株)ライフパシフィックデザイン 坂本研究員	<p>それでは、アンケート実施の概要についてご説明いたします。</p> <p>15ページをご覧ください。</p> <p>令和9年度新たな介護保険事業計画・高齢者福祉計画策定にあたり、以下の7種のアンケート調査を実施いたしました。</p> <p>現在入力・集計作業を実施しております。資料内に記載されている数値は速報値であり、修正される場合がございます。</p> <p>①介護予防・日常生活圏域ニーズ調査は要介護認定を受けていない65歳以上の高齢者を対象に実施し、有効回収率は64.5%、②第2号被保険者調査は40歳～64歳以下の市民を対象に実施し、有効回収率は54.5%、③居宅サービス利用者調査は居宅サービスを利用している要介護認定者を対象に実施し、有効回収率は52.6%、④施設サービス利用者調査は施設サービスを利用している要介護認定者を</p>

対象に実施し、有効回収率は47.7%、⑤サービス未利用者調査はサービスを利用していない要介護認定者を対象に実施し、有効回収率は45.8%、⑥サービス提供事業者調査は富津市内の介護サービス事業者を対象に実施し、有効回収率は59.9%、⑦在宅介護実態調査は在宅で介護を受けている要支援1以上の方と、介護を行っている家族を対象に実施し、有効回収率は75.0%となっております。

16ページをご覧ください。

調査を行った7種の調査の主な調査結果についてご説明いたします。

【①介護予防・日常生活圏域ニーズ調査】については、左側のグラフ「地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進める活動に参加者として参加してみたいと思いますか。」という問いに対し、「参加したくない」(48.3%)が最も高く、次いで「参加してもよい」(37.1%)が続く結果となっております。

また、「企画・運営者として参加したいと思いますか」という問いに対しては、「参加したくない」(67.9%)が最も高く、次いで「参加してもよい」(22.4%)という結果となっております。

次に右側のグラフ「あなたが地域住民のために『支援を行ってもよい』と思うものはありますか。」という問いに対し、「特にない」を除いた場合、「見守り・安否確認」(17.8%)が最も高く、次いで「話し相手・相談相手」(16.3%)が続く結果となっております。

17ページをご覧ください。

【②第2号被保険者調査】について、左側のグラフ「介護が必要な状態になった時、どのようにしたいですか。」という問いに対し、「介護保険などのサービスを利用しながら、自宅で生活したい」(42.0%)が最も高く、次いで「わからない」(21.3%)が続いております。

次に右側のグラフ「あなたは老後において何が問題になると考えますか」という問いに対し、「健康のこと」(73.1%)が最も高く、次いで「生活費のこと」(6

4.1%)が続く結果となりました。

18ページをご覧ください。

【③居宅サービス利用者調査】について、左側のグラフ「現在、ご家族からどのような介護や介助を受けていますか。」という問いに対し、「通院」(71.1%)が最も高く、次いで「買い物」(70.4%)が続いております。

ここで訂正がございます。

右側のグラフの上位2項目が入れ替わっております。正しくは、「介護保険などのサービスを利用しながら、自宅で生活したい」が40.9%、「自宅でできるだけ家族に介護してもらいたい」が22.9%になります。

訂正をお願いいたします。

19ページをご覧ください。

【④施設サービス利用者調査】について、左側のグラフ「現在施設に入所されていますが、あなた自身どのような介護を受けて生活したかったですか。」という問いに対し、「介護保険などのサービスを利用しながら、自宅で生活したかった」(34.6%)が最も高く、次いで「介護保険施設に入りたかった」(21.5%)が続いております。

次に右側のグラフ「自宅での生活が困難になった理由はなんですか。」という問いに対して、「心身の状態が在宅で生活するには難しいから」(56.9%)が最も高く、次いで「介護する人がいなかったから」(35.8%)と続く結果となりました。

20ページをご覧ください。

【⑤サービス未利用者調査】について、左側のグラフ「現在、介護サービスを利用していない理由はなんですか。」という問いに対し、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」(52.6%)が最も高く、次いで「本人にサービス利用の希望がない」(38.2%)と続いております。

次に、右側のグラフ「介護保険サービス以外で、整備してほしいサービスはありますか。」という問いに対し、「特にない」(40.2%)が最も高く、次いで「介護・

福祉タクシー」(26.0%)、「通院への同行」(22.8%)と続く結果となりました。

21ページをご覧ください。

【⑥サービス提供事業者調査】について、左側のグラフ「令和7年1月～令和7年12月の期間の人材確保の状況はいかがですか。」という問いに対して、「おおむね確保できている」(32.9%)と「あまり確保できていない」(32.9%)が同率で最も高く、次いで、「確保できていない」(24.4%)と続いています。

右側には「採用や人材定着に関する課題について」の自由記載を一部抜粋で記載しております。

所得面や、人材不足、人材確保の難しさの声が多くありました。

22ページをご覧ください。

【⑦在宅介護実態調査】の「主な介護者への調査」について、左側のグラフ「主な介護者が行っている介護等についてご回答ください。」という問いに対し、「外出の付き添い、送迎等」(62.2%)が最も高く、次いで「その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)」(44.6%)と続いています。

次に、右側のグラフ「現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等についてご回答ください。」という問いに対し、「外出の付き添い、送迎等」(23.0%)が最も高く、次いで「その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)」(20.3%)と続く結果となりました。

23ページをご覧ください。

【⑧新しい認知症観】について、「そう思う・どちらかといえばそう思う・どちらかといえばそう思わない・そう思わない」の4つの選択肢から1つ選択する問いを、①介護予防・日常生活圏域ニーズ調査・②第2号被保険者調査・③居宅サービス利用者調査・④施設サービス利用者調査・⑤サービス未利用者調査の5種の調査結果の「そう思う・どちらかといえばそう思う」の肯定意見の比較を行いました。

左上の「①誰もが認知症になりうると思う人の割合」については、他の調査と比

	<p>較して「サービス未利用者調査」結果が低くなっています。</p> <p>次に上の段中央の「②認知症になっても意思が尊重され望む生活ができると思う人の割合」については、他の調査とくらべ「居宅サービス利用者調査」結果が低くなっています。</p> <p>次に上の段右側の③認知症になってからもできることやりたいことがあると思う人の割合」については、他の調査と比べて「サービス未利用者調査」結果が低く、最も高かったニーズ調査と比較して、約20%の差があります。</p> <p>次に下の段の左側「④認知症になってからも住み慣れた地域で暮らし続けることができると思う人の割合」については、「サービス未利用者調査」結果が最も低く、居宅サービスと同様に50%に満たない結果となっています。</p> <p>次に下の段の右側、「⑤認知症になってからも希望をもって自分らしく暮らし続けることができると思う人の割合」については、他の調査と比較して「第2号被保険者調査」結果が最も低く、40%に満たない結果となりました。</p> <p>アンケートの回収実績に関する報告は以上となります。</p>
宮崎議長	<p>事務局の説明は終わりました。</p> <p>ご意見、ご質問はございませんか。</p> <p>それでは、ご意見、ご質問もないようですので、報告第1号を終了いたします。</p> <p>説明員の株式会社ライフパシフィックデザインのお二人は、退室をお願いいたします。</p> <p>説明ありがとうございました。</p>
— 説明員退室 —	
宮崎議長	<p>続きまして、報告第2号「地域密着型サービス事業者の公募結果について」です。</p> <p>事務局の説明を求めます。</p>
堀越副主査	<p>報告第2号「地域密着型サービス事業者の公募結果について」をご説明いたします。</p> <p>資料の24ページをご覧ください。</p>

	<p>第9期介護保険事業計画の施設整備方針に小規模多機能型居宅介護事業所1施設を富津地区又は天羽地区のどちらかに整備することとなっております。</p> <p>事業者選定のための公募の実施にあたり、令和7年11月10日に書面開催いたしました第3回富津市介護保険運営協議会において、委員の皆様へ承認をいただきました。</p> <p>その後、令和7年12月2日に開催予定としておりました公募説明会への参加を応募の条件として、市や県のHPで周知を行いましたが、申込期限までに公募説明会への参加申込がありませんでした。</p> <p>今後の方針といたしまして、公募型プロポーザル方式による事業者の選定には、公募実施の公表から決定まで2か月程度の期間を要すること、また、令和8年度中に建築工事などの施設整備を完了し、開設することが千葉県の交付金を受ける要件であることから、令和8年度に事業者を決定し、同年度中に事業所を開設することは難しいと考えられます。</p> <p>このような状況から、再公募は行わず、現在、集計・分析中の市民及び事業者向けアンケート調査の結果や今後の介護サービス受給者の状況等を踏まえ、次期計画の施設整備方針を検討していきたいと考えております。</p> <p>以上で報告第2号の説明を終わります。</p>
<p>宮崎議長</p>	<p>事務局の説明は終わりました。</p> <p>ご意見、ご質問はございませんか。</p> <p>それでは、ご意見、ご質問もないようですので、報告第2号を終了いたします。</p> <p>続きまして、報告第3号「介護予防・日常生活支援総合事業指定事業者の新規指定について」です。</p> <p>事務局の説明を求めます。</p>
<p>白井主事</p>	<p>報告第3号「介護予防・日常生活支援総合事業指定事業者の新規指定について」をご説明いたします。</p> <p>本報告は、合同会社アートリングスより届け出がありました、「デイサービス花くじら」の令和8年4月1日から開始予定の通所型サービスの新規指定にあたって、</p>

	<p>富津市指定介護予防支援の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例に基づいて内容を審査したところ、適正と認められたことから、指定を行った旨を報告するものです。</p> <p>なお、要介護の方を対象とした「デイサービス花くじら」につきましては、議案第2号にて審議をお願いしたところですが、本報告の事業は要支援の方を対象とした通所型サービスの指定の報告になります。</p> <p>以上で説明を終わります。</p>
宮崎議長	<p>事務局の説明は終わりました。</p> <p>ご意見、ご質問はございませんか。</p> <p>それでは、ご意見、ご質問もないようですので、報告第3号を終了いたします。</p> <p>続きまして、報告第4号「指定居宅介護支援事業者の指定更新について」です。</p> <p>事務局の説明を求めます。</p>
白井主事	<p>報告第4号「指定居宅介護支援事業者の指定更新について」をご説明いたします。</p> <p>本報告は、株式会社フレンドリーより届け出がありました「居宅介護支援フレンドリー」の指定有効期間の満了に伴い、令和8年1月1日からの指定更新の届出があり、内容を指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準に基づいて審査したところ、適正と認められたことから、指定を行った旨を報告するものです。</p> <p>以上で説明を終わります。</p>
宮崎議長	<p>事務局の説明は終わりました。</p> <p>ご意見、ご質問ございませんか。</p> <p>それでは、ご意見、ご質問もないようですので、報告第4号を終了いたします。</p>
宮崎議長	<p>以上で、本日の審議は終了しました。</p> <p>その他として、委員の皆さんから何かございますか。</p>
宮崎会長	<p>事務局から何かございますか。</p>
小野田部長	<p>本日の会議をもちまして、今年度の富津市介護保険運営協議会は終了となります。</p> <p>委員の皆様方におかれましては、お忙しい中ご尽力いただきありがとうございました。来年度につきましては、計画策定年度となりますことから、5回の開催を予定</p>

	しております。引き続きご協力いただけますようお願い申し上げます。
宮崎議長	それでは、以上をもちまして、令和7年度第4回富津市介護保険運営協議会を終了いたします。皆様大変お疲れ様でございました。
閉会（15：45）	